

鈴鹿市立井田川小学校 令和6年度

学校教育目標 豊かな心を持ち、自ら考え、たくましく生きる子どもの育成

I 喜びのある学校 「わかる喜び、できた喜びが味わえる学校」	II 元気な学校 「自分の思いを出し、互いに認め合える学校」
◆ めざす子ども像 ◆ ・基礎基本を身に付けるとともに、主体的に学ぶ子ども ・健康への意識を高め、健やかな体をもつ子ども ◎ 基礎基本の徹底 → ICTを活用した個別最適な授業と協働的な学び → 家庭学習の充実 → 生活習慣、学習規律の徹底 ◎ 授業改善(研究テーマ) 「聴き合い、伝え合い、主体的に学ぶ子どもをめざして」 ～「わかる！」授業づくりと安心して学び合える学級集団づくりを通して～ 領域:算数科 ・教職員の授業力の向上 → ICT の活用推進 → 全担任による公開授業と事後検討会 → 研究発表校や研修講座等への参加 ○ 読書活動の推進 → 学校図書館教育の推進 ○ 体力向上を意識した日常的な体育活動 → 全校一斉縦割り遊び等の充実 → 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果等をふまえた取組の推進	◆ めざす子ども像 ◆ 豊かな感性を持ち、自律した子ども ◎ 豊かな感性の醸成 → 各教科・道徳・学活・総合的な学習の時間等を中心とした取組 ◎ 不登校及び児童虐待未然防止の推進 → 組織的な校内支援体制による取組 → 早期発見・早期対応の徹底 → 関係機関等と連携した支援会議の設定 ◎ 特別支援教育・人権教育の推進 → 「子ども理解」と生活背景の把握 → 家庭環境をふまえ、子どもや保護者の思いに寄り添う支援 → 中学校区人権教育推進委員会等の取組(授業公開)の推進 ○ キャリア教育の推進 → 外部講師、地域の人材や資源の活用 ○ 学校危機管理マニュアルによる安全安心な組織体制の確立 → 避難訓練、交通安全指導等の充実 ○ 教職員の資質の向上 → 特別支援教育及び不登校、児童虐待防止に係る校内研修の実施
III 保護者・地域から信頼される学校 ○ 保護者・地域と連携した安全安心な組織体制 ○ 学校運営協議会での熟議をふまえた教育活動	
IV 教育に関わる環境整備や教職員の ○ 教育施設の整備 ○ 勤務時間の縮減と業務改善 ＜数値目標＞ ・一人当たりの月平均時間外労働時間……………毎月30時間以下 ・年360時間、月45時間を超える時間外勤務職員数……………0人 ・1人当たりの年平均休暇取得の目標日数……………22 日 ・設定した日に定時退校ができた職員の割合……………90%以上 ・放課後、60 分以内に終了した会議の割……………70%以上 ・独自取組…… 教職員自身による提示退校デーの設定……………月1回	